



©Shoichi Ono

老人看護専門看護師の活動

私たち老人看護専門看護師は、高齢者に関わる様々な場所や教育機関で活動しています。日々のケアの中で、疾患や問題に焦点を当てた医学モデルに加え、生活の視点を大切にしています。また、高齢者を意思ある人として尊重し、言語・非言語的に表出される微弱なサインを多職種チームで丁寧にくみ取り、家族とともに最善を考え、支えています。高齢者に起こりやすい健康問題への予防的な介入、高齢者を中心とした継続的な話し合いを重ね、看取りまでを見据えた支援を行っています。そして、いずれ訪れる死が高齢者と家族にとって、「安らかで美しい最期」「納得でき心残りが少ない最期」となるよう、人生の最終段階のケア（エンドオブライフ・ケア）の実践に取り組んでいます。

老人看護専門看護師は高齢者に関わる様々な場で活動しています！

- ・医療施設（一般病院、医療療養型病院、精神科病院など）
- ・介護施設（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、グループホームなど）
- ・地域・在宅（看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーションなど）
- ・教育機関（大学、看護学校など）

▶登録者の情報は、日本看護協会HPをご参照ください。 <https://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cns>

<https://jpncons.org/>

老人看護専門看護師による多様な取り組み

▶多職種・地域での最善のケアの実践と推進できる基盤づくり

- ・日々のケアを大切に考えたケアの質の向上
- ・せん妄、摂食嚥下障害、フレイル等の老年症候群など高齢者に起こりやすい課題に介入するシステムづくり
- ・身体拘束廃止に向けた取り組み
- ・高齢者の意思とともに支えるためのアウトリーチ活動
- ・高齢者や地域住民対象の健康づくりやフレイル予防などに関するセミナーの企画・運営
- ・研究活動を通じた知識の創出

▶エンドオブライフに向けた

高齢者・家族・関わる人々へのケア

- ・高齢者とその家族等が望む医療やケアや暮らし方について継続的に話し合うACP(アドバンス・ケア・プランニング)の実践と普及
- ・高齢者の尊厳を保持する丁寧な日々のケアの実践

▶認知症高齢者の権利擁護

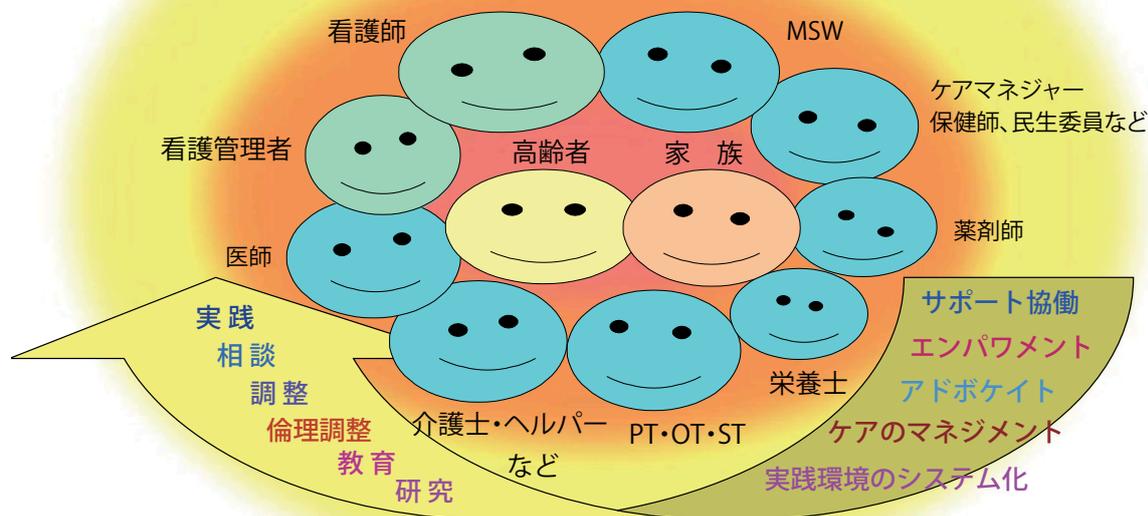
- ・認知症初期集中支援チーム、認知症ケアチーム、精神科リエゾンチームでの運営と活動
- ・認知症家族会、認知症カフェ等を通じた本人・家族の社会参加の支援
- ・認知症ケアの充実に向けた政策提言への関与

▶高齢者ケアを担う人材の育成

- ・組織内外、看護教育機関での教育研修の企画運営、キャリア開発支援
- ・高齢者のエンドオブライフ・ケアの研修プログラムの開発と普及
- ・高齢者の倫理的問題への教育基盤づくり
- ・看護研究、学会報告の支援

老人看護専門看護師の動き

高齢者の“意思”を尊重し
「最期まで“人間らしく”過ごせる」ことを支援します



アメーバのように姿を変え、高齢者と家族(介護者)、高齢者を支える人のために動く

老人看護専門看護師のチャレンジ

人生100年時代を迎える今、老年期はますます長くなり、過ごし方や生き方に関する人々の願いも個々様々です。2040年問題を控え、老人看護専門看護師はわが国が抱える超高齢多死社会という世界が経験したことのない難題に向き合い、高齢者個々にふさわしい最善の医療とケアが提供されるよう尽力します。また社会への提言を行い、老いや病いと向き合う高齢者が人生最後のその時を人間らしく、その人らしく過ごせる社会づくりに貢献します。

